

その

いずみの園だより 48

vol

2008.7.4
IZUMINOSONO

信望愛



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。
その中で最も大いなるものは愛である。 コリントの信徒への手紙Ⅰ 13:13



神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

基本理念

- Amenity** アメニティ(快適主義) 快適なサービス、快適な環境、笑顔のサービス提供を行う。
- Humanity** ヒューマニティ(人間主義) 心と体の自由を尊重、一人ひとりの個性を大切にサービス提供を行う。
- Locality** ローカリティ(地域主義) 地域と共の歩み、地域の福祉拠点としての役割を果たす。

- 介護老人福祉施設いずみの園(特養)
- いずみの園ショートステイサービス
- グループホーム ベテルハウス
- ケアマンション聖愛ホーム(ケアハウス)
- シニアレジデンス いずみの森
- クリニック いずみ
- リハビリセンター いずみ
- いずみの園訪問看護ステーション
- いずみの園ホームヘルパーステーション
- シルバーハウジング事業
- いずみの園デイサービスセンター
- かきぜサポートセンター
- 障害者デイサービス事業
- 生きがいデイサービス事業
- いずみの園児童クラブ ピーター
- いずみの園介護保険サービスセンター
- 地域包括支援センターいずみの園
- 障害者生活支援センター エマオ
- 大分県地域介護実習・普及センターいずみの園

ISO 9001認定取得



2002年3月26日
高齢者介護及び
リハビリテーションサービス



かきぜサポートセンター いずみの園児童クラブピーター
「盲導犬のトリン君と淵川さんが来てくれたよ!!」

後期高齢者医療制度は やはり、おかしい

後期高齢者医療制度が大きな問題となっている。福田首相がその対応に四苦八苦しているようだが、この制度はそもそも郵政民営化選挙で圧勝した小泉首相(当時)が06年、選挙の余勢を駆って「骨太の方針」に盛り込んだものである。小泉元首相は徹底した新保守主義者であり、国家の基礎構造改革を強力に推進した。規制緩和、自由競争、市場原理を旨とし減税、自由経済、小さな政府を目指して社会保障関係費も聖域化しなかった。

老化とは病との共生でもある。年をとればあちこち痛み、動きも不自由になってくる。これは誰でも歩む道であり、自然の成り行きである。今回の制度は、高騰する高齢者の医療費を別枠化して公表し、利用を抑制しようというものだ。介護も例外ではない。この5月13日開催された財務相の諮問機関である財政制度等審議会は、介護保険を抜本的に見直し、要介護度2以下の軽介護の人を介護保険の対象からはずすことも視野に入れた。これは「老人は死んでください国のため」と言わんばかりの強者の論理である。人間性を少しも見ることのできない、いわゆる構造改革を許すわけにはいかない。

生涯をかけて働き続け、家庭と社会を守ってきたお年寄りが、元気で胸を張って暮らせる社会にしてほしい。私たちも昔はお年寄りを地域の長老として尊敬していた。インディアンのスー族は、老人を「ワイスマン(賢者)」として最高位を与え、一族の誇りとした。世界最強の経済大国にならなくていい、世界5位の軍事大国でなくていい。心安らかに老後を迎えられる国になってほしい。



介護保険総合ケアセンター
いずみの園

施設長
富永 健司

学習療法への取り組み

報告 介護課 主任 ● 重成智子



学習療法とは、東北大学の川島隆太教授グループにより「音読と計算を中心とする教材を用いた学習を、学習者と支援者がコミュニケーションをとりながら行うことにより、学習者の認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能など前頭前野機能の維持・改善をはかるものである」と定義されています。

川島教授グループの研究により、アルツハイマー型認知症、脳血管型認知症の両タイプに有効なことが確認されています。さらに、学習者の方々は、生活面での変化も多く見られることがわかっています。具体例として「①笑顔が増え、表情が豊かになった。②自分の意思を積極的に示すようになり、コミュニケーション量が増えた。③排泄・着衣・食事など自分でできることは自ら行うようになった。④尿意を感じるようになり、自分でトイレに行けるようになった。⑤学習が楽しみで、生きがいを感じるようになった」と挙げられています。

そして、この研究でたどり着いた、学習療法を目指すものは、「すべての高齢者に最後まで生き生きと尊厳のある人生を過ごしていただく。学習療法を個別ケアに生かす」とであると考えました。

当園で学習療法が導入された経緯は、大分県内で学習療法を導入している他の施設での研修の折に「利用者の方の活性化に良いのではないか」と施設長の提案のもと、スタッフの方が学ぶ機会を得て、H19年11月19日より導入に至りました。

最初は「自分でできるのか」と不安を感じられる方もいましたが、日々コミュニケーションを深めながら、繰り返し行う中で「今日



は、いつするんかえ」、「私は、これは頑張ろうと思うんよ」と楽しみにして学習の時を待つようになりました。施設サイドの「しませんか?」の言葉かけから始まった学習ですが、利用者の方の「したい」という声に変わっています。このような声を聞く時、学習療法が、本来の「学習療法」の意味を持ったと強く感じました。

ある方は「字が書けない」と、始めは代筆でしたが、コミュニケーションと毎日積み重ねていく中で、徐々に自分で書くようになりました。又、ご家族の面会時に学習療法が話題の中心となり、ご家族が話題、それに答えている方もいます。その姿にご家族は驚き、感動されています。

最近では、読み書きの時に「これはどういう意味ですかね?」と尋ねると、「これはね...」と、職員が教えてもらうこともしばしばです。国語の教師だったある利用者は、教える時、とても生き生きとしています。まるで教師時代に戻ったようです。

学習療法を通じて、ご利用者の今まで気付かなかった一面や表情をたくさん見ます。お一人、おひとりを知る良い機会になっていると思います。

2008 いずみの園新任職員紹介

いずみの園の10人の新しい仲間です。

新卒者

いずみの園ではこの4月に10名の新任職員を迎えました。リハビリ関係の専門職から市内高校の新卒者まで、幅広い人材が集まってくれました。スキル(技術)はまだまだでも、ご利用者に真摯に向きあう「想い」と、相手を思う「笑顔」があふれています。どうぞよろしくお願いいたします!



伊藤 明日香
別府清部学園短期大学
介護福祉学科



岡崎 真理
西南女学院大学
保健福祉学部
保健福祉学科



宮崎 文也
第一福祉大学
人間社会福祉学部
総合臨床福祉学科



金田 亜弥
広島女学院大学
生活科学部 管理栄養学科



高橋 恵美
大分県立中津商業高等学校
商業科



今吉 日向子
筑紫女学園大学
文学部 人間福祉学科



山崎 有佳里
北九州リハビリテーション学院
作業療法学科



西山 克也
リハビリテーションカレッジ高根
作業療法学科



長久 恵子
北九州保健福祉専門学校
通信教育部 共生館福祉医療
専門学校 研修課



都留 新吾
智泉総合福祉専門学校

安心・安全へのいずみの園の取り組みについて

いずみの園 安全運転管理者 総務部 総務課長 ● 藤本泰治



す。園の交通安全への取り組みをご紹介します。

ここに、いずみの園の交通安全への取り組みをご紹介します。

は、中津警察署長より富永施設長へ指定書が手渡されました。施設長は「交通安全意識を高め、明るい社会実現のため一丸となって取り組む」ことを宣言しました。

2007年5月24日に中津警察署で行われた指定式では、中津警察署長より富永施設長へ指定書が手渡されました。施設長は「交通安全意識を高め、明るい社会実現のため一丸となって取り組む」ことを宣言しました。

「交通事故抑止」 モデル事業所指定

いずみの園では、50台近くの自動車保有数があり、市内を毎日忙しく走りまわっています。デイサービスご利用者を送迎したり、ホームヘルパーがご利用者宅を訪問したり、ケアマネジャーが調査にお伺いしたりと、様々な仕事で利用しています。

車両を運転する職員は、安全運転を心掛けていますが、車両利用回数も膨大なものとなるため、トラブルが起きることもあります。これに対し、交通安全への活動について、取り組みの見直しを考えていた時、中津警察署の担当者から「交通事故抑止モデル事業所の指定を受けて欲しい」と依頼がありました。事業所内で話し合い「交通安全意識の再確認にちょうど良い機会である」と、喜んでお受けすることになりました。

■街頭指導

毎月2回、朝の通勤時間帯に、施設の近くで街頭指導を行っています。他のドライバーへの注意を促すとともに、指導に立つ職員自身の交通安全意識の高揚にもつながっています。

■介護保険利用者への展開

いずみの園では多くの高齢者の方が、介護保険サービスを利用していますが、その高齢者の方々にも、交通安全についてのお話させていただきました。パンフレットや、手持ち看板を使い、交通安全について注意事項をお伝えしました。

■運転適正検査

大分県警察所有の交通安全教育車「セーフティぶんご」に来園してもらい、ドライビングシミュレータを使って、職員の運転適正検査を行いました。交通事故を体験することができ、安全運転について考える良い機会を得ました。

■運行前点検

ISO9001に則った確認手順で、運行前後の点検を実施しています。これにより、車両の整備不良によるトラブルを防いでいます。

■研修会実施

中津警察署交通課の担当者にお話し、安全運転講習会を開催しました。参加した職員は、安全運転について、さらに認識を深めることができました。

■デイルイト活動

日中の運行時、ヘッドライトを点灯させる「デイルイト活動」を実施しています。対向車への注意喚起と、運転する職員自身への意識付けができました。

■情報共有と環境整備

いずみの園ではパソコンのネットワークを導入しており、その中で交通事故情報を共有し、再発防止に役立てています。また、園内の広い敷地の中では、思わずスピードがでてしまう場所があり、この場所に「施設内徐行」の標識を設置しました。さらに、敷地への進入と退出のレーンが分りづらい場所がありましたが、道路面に矢印を表示することで判りやすくしました。



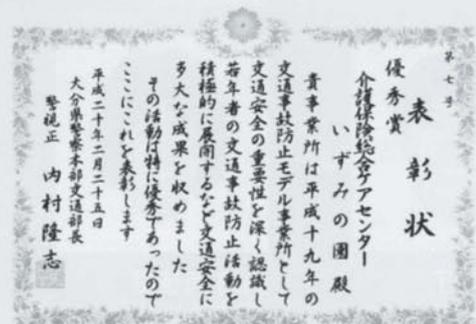
2007年度 「交通事故防止モデル事業所」 優秀賞受賞

これらの「交通事故抑止モデル事業」の活動が評価され、2007年度の優秀賞を受賞する事となりました。

この事業には、県内18事業者がエントリーし、数事業所が優秀賞を受賞しましたが、その中の1つにいずみの園が選ばれることが出来ました。

2008年2月25日、中津警察署の署長室で表彰式が行われ、大分県警察本部交通部長名の表彰状と記念品をいただきました。

2007年5月以降、全職員で取り組んできたこの活動が、表彰という形で評価されたことに、心から感謝しています。引き続き、交通事故ゼロに向け、いずみの園一丸となって、安全運転に取り組んでいきます。



2007年度 園内研修をふりかえって

研修課 課長 ● 森 光徳

2007年度 園内研修開催実績

月日	講演題
2007 5/25 金	認知症ケアについて 講師 尾崎認知症特任課長
2007 6/26 火	感染対策の新しい考え方について (CDCガイドライン 標準予防策、消毒剤の適正使用) 講師 (株)丸石製薬 池澤 毅氏
2007 7/24 火	個人情報の取り扱いについて 講師 藤本総務課長
2007 8/7 火	安全運転講習会 (施設職員としての安全対策、高齢者に対する注意) 講師 中津警察署交通課
2007 9/25 火	摂食、嚥下療法について 講師 湯布院厚生年金病院言語療法士 森 淳一氏
2007 10/29 日	人生の危機に創造的生き方を見出す —スピリチュアルケアの方法と実際— 講師 独八ノヴァー大学名誉教授 エリカ・シューハート氏
2007 11/29 木	感染症対策と予防について 講師 中津保健所保健師 山口 輝華氏
2008 1/7 月	キリスト教賛美と証 台湾 チェン 加寿子氏 (ピアニスト) 吉村 美穂氏 (ソプラノ歌手)
2008 1/21 日	高齢者へのスピリチュアルケア 講師 関西学院大 窪寺 俊之教授

通常の研修は介護に関連したものが多く、職員のスキルアップに直接役に立つ内容となつていません。しかし、メンタルな対処方法の捉え方も重要となります。「目に見えないものの中こそ、大切なものが隠されており、また、人は人生において誰も、危機的困難な状況に遭遇することがある。その中こそ多くの恵や宝物が隠されている。そして、それをチャンスに変えることが出来る」事を、両教授は我々に示して下さいました。今後このような研修を推進していきたいと思えます。

全職員を対象とした「園内研修」ですが、2007年度は施設の理念でもあり使命でもある、キリスト教福祉に添ったテーマを充実させ、進めていきました。
入職時の新人研修においては、日本基督教団中津教会からグレース保育園、いずみの園へと発展して今日に至った、当施設の歴史を学びます。そこでは、キリスト教福祉といずみの園が地域で果たす役割を、様々な視点から聞く機会があります。しかし、途中で入職する職員や、現在の研修システム導入以前に採用された職員は、キリスト教福祉に触れる機会は多くありませんでした。職員礼拝は毎週水曜に聖愛ホームチャペルで行なわれており、牧師による礼拝説教の中で、キリスト教の愛について理解を深めています。そのような中、ドイツのエリカシューハート教授や関西学院大の窪寺俊之教授という、スピリチュアルケアで著名なお二人をお招きすることができたのは、大変意義深いことでした。少し難しい内容もありましたが、ご利用者をケアさせていただく上において、とても大切な事を学べたと思います。心身のケアは言うまでもありませんが、ケアを提供する側と受ける側の「魂のケア」がとても重要で、意味を持つものであることを教えていただきました。



関西学院大 窪寺 俊之教授



カウンセラー室ができました

カウンセラー室より



4月よりカウンセラー室長として勤務している、チャプレン(施設の牧師)の堤 健生です。いずみの園では礼拝でお話しをしたり、皆様のところへ訪問をしてお祈りをさせて頂いたり致します。又生きていくうえで苦しいときやつらいとき、その人と共に歩む事が務めです。

牧師は宗教家で宣教をする人というイメージをお持ちの方がいるかもしれませんが、チャプレンは更に一般的な働きを致します。ご入居・ご利用されている方々や職員の方々の心のケアを担当する人とお考え下さい。キリスト教を強要したり致しませんので気軽に声をかけて下さい。私も色々なところへ自由に出入りさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

カウンセラー室室長 チャプレン 堤 健生



「中津市在宅介護支援センターいずみの園」は、平成19年4月に「中津市地域包括支援サブセンターいずみの園」へ生まれ変わりました。

国の政策が介護予防重視へと移り、中津市でも中津市社会福祉協議会が平成18年4月に市より委託を受け、中津市地域包括支援センターが始動しました。これと同時に、介護予防と地域密着の介護支援等を効果的に進めるため、今まで在宅介護支援センターを受託していた事業所が、新たに地域包括支援サブセンターとして委託を受けました。

現在、地域包括支援サブセンターいずみの園は2年目を迎え、主任介護支援専門員1名、介護支援専門員2名、社会福祉士1名の4名で活動しています。



1 役割について

介護予防支援

介護保険の要介護認定で「要支援1」または「要支援2」の認定を受けた方を対象に、介護予防支援計画（予防プラン）を立て、予防支援や予防サービスの調整を行っています。

包括的支援事業

中津市地域包括支援センターを中心に、介護に関する総合相談や権利擁護に関する相談、及び介護支援専門員への支援等を行っています。

介護予防普及啓発活動

介護予防に関する広報や啓発活動を行っています。相談支援時や介護教室等の場を使って、介護予防の考え方やその内容（運動器機能向上、口腔機能向上、栄養改善等）について説明します。

その他・市からの委託事業

中津市が行っている配食事業、軽度生活援助員派遣事業、生きがいデイサービス、緊急通報装置等についてその申請代行や実態把握調査を行っています。

2 中津市家族介護者教室について

「中津市地域包括支援サブセンターいずみの園」は、今津校区、大幡校区、如水校区の3校区を担当させていただいており、それぞれの地域で年に1回、家族介護者教室を開催しています。

平成20年度は昨年度に引き続き「二生美味しく、楽しく、安全な食生活を営むために」と題し「レンジを使った簡単手料理教室」と「お口のお手入れについて」について、実技を交えて行います。

レンジを使った簡単手料理教室

講師 久留見 綾野 管理栄養士 (いずみの園)

健康になるための食生活を、できる事から見直してみませんか？昨年ご好評いただいたレンジ調理では、新しいレシピを紹介いたします。試食しながら美味しいレパートリーを増やしましょう。

お口のお手入れについて

講師 松永 真弓 歯科衛生士
年齢やお口の状態に合わせた食前のお口の体操や、食後の歯磨き（ブラッシング）を体験しながら学びましょう。

- 今津校区 平成20年7月5日 10時～12時 今津公民館
 - 大幡校区 平成20年9月20日 10時～12時 いずみの園
 - 如水校区 平成21年2月21日 10時～12時 如水公民館
- 地域交流センター

いずみの園 福祉サービス相談(オンブズマン)委員会からのお知らせ

いずみの園では、提供するサービスに対し、ご利用者からの苦情やお悩みなどを適切に解決することを目的として、公正・中立的な立場から相談を受け付ける委員を、第三者に委嘱しています。このたび委嘱期間の満了に伴い、新たな第三者委員を委嘱いたしましたので、お知らせします。

今期第三者委員に委嘱されたのは、木城 睦之委員(永添)、大霜 明子委員(万田)、谷 直美委員(下宮永)です。

いずみの園福祉サービス相談(オンブズマン)委員会の第三者委員には、直接電話や手紙で相談することも可能ですし、毎月第2水曜日(10時から12時)にはいずみの園の園内で委員会も開催されておりますので、お気軽にお問い合わせください。いずみの園の各所に設けているご意見箱では、無記名のご意見も受け付けております。いずみの園をより良い施設にするために皆様のご意見をお待ちしております。



●いずみの園福祉サービス相談(オンブズマン)委員会 第三者委員名簿

木城 睦之 委員(写真中) Tel 23-1810
大霜 明子 委員(写真右) Tel 22-6776
谷 直美 委員(写真左) Tel 23-1130

いずみの森の交流会

シニアレジデンスいずみの森では、ご入居者の皆様の親睦を図るため、月に一度「交流会」を開催しています。

ある時は敷地内の芝生広場でお弁当を囲みながら「お花見」をしたり、またある時はドライブがてら「神楽女湖(別府)の花菖蒲鑑賞と由布院散策」をしたりと、皆様に喜んでいただけたよう、スタッフ一同で一生懸命企画を立てています。

5月にはご入居者のリクエストにお応えし「中津歴史探訪」と題して、城下町中津市の歴史を辿ってみました。目的は旧中津市内南部&北部校区です。中津市内でも旧市街区に当るこの地域は、中津城を中心とした町割が今でも残っており、城下町の風情が漂います。町名も「鷹匠町(たかじょうまち)」「仲間町(ちゅうげんまち)」「矢場町(やばまち)」「外馬場(そとはば)」など、往時を偲はせる町札を見ることが出来ます。

今回は中津の歴史について、より深く掘り下げてみようかと、現地で説



明して下さる専門家をお願いしました。中津城では「中津城と石垣」と題し中津市文化財調査員の高橋章子先生が、福澤旧居では「福澤旧居と記念館」をテーマに福澤旧居保存会の園憲一事務局長が、史跡や資料を前に大変興味深いお話をして下さいました。高橋先生の話から、中津城が「九州最古の石垣が唯一現存するお城」であることが判り、見事に復元された石垣と涼やかに水を溜えたお堀を、感動をもつて見る事となりました。

ご入居者様の中には、ご出身が当地以外の方もいらつしやいます。縁あつていずみの森にご入居いただいた皆様へ、今後も「我がまち中津」の良いところを沢山ご紹介したいと思えます。「中津歴史探訪」はシリーズとして、耶馬溪や山国方面へも足を伸ばす予定です。

森の農園

ご入居者に土と親しんでいただけるよう整備している「森の農園」ですが、今年度は希望者に専用畑を用意し、それぞれがお好きなものを栽培していただいています。

ある方はお花を植え、又ある方は「いろんな野菜作りに挑戦するのー」と、沢山の種類の苗を育てていらつしやいます。森のスタッフも相談を受けながら、サポートさせて頂いていていきます。「毎日畑に行くのが楽しみ。成長してくものが傍に在ると、いうことの喜びを感じています」と、笑顔で話してくださいました。



ゴーヤ、トウモロコシ、ナス、パプリカ、きゅうり、トマト、ピーマン、パツマイモ、ヒルナン、さといも、かぼちゃ、青葉巻、赤紫蘇、枝豆、いろいろ育てます!!

INFORMATION

- 所在地 大分県中津市永添上ノ原2765
- 交通 JR日豊本線「中津」駅より車で約15分
- 開設年月日 2006年2月1日
- 施設類型 住宅型有料老人ホーム
- 土地の権利形態
社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団所有
- 住居の権利形態 利用権方式
- 事業主体・运营管理
社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団
- 構造・規模 一戸建て(平家造り)8棟
(1LDK6棟、2LDK2棟)および管理棟1棟
- 入居時の要件
お一人入居の場合、60歳以上であること。ご夫婦で入居の場合、どちらか一方が満60歳以上であること。ご夫婦以外で入居の場合、両者の関係が三親等以内の血族もしくは一等親以内の姻族であり、両者とも60歳以上であること。健康保険(医療保険)、介護保険に加入されていること。
- 介護保険 在宅サービス利用可
- 住宅数 8棟
- 敷地面積 78.37㎡~92.13㎡(駐車場含む)
- 居室タイプ 1LDK6棟、2LDK2棟、全棟一戸建て
- 入居時にかかる費用
□入居一時金 Aタイプ(2LDK) 800万円
B・Cタイプ(1LDK) 650万円
- 毎月かかる費用
□合計 1人入居 100,000円~
2人入居 120,000円~
- (内訳)
・家賃 Aタイプ(2LDK) 100,000円
B・Cタイプ(1LDK) 80,000円
・管理費 1人 20,000円
2人 40,000円
- ◎お食事を希望される方には、配食サービスを提供しております。(朝食350円、昼食700円、夕食600円)
- ◎その他、各住戸内の電気代、電話代、新聞購読料などは各自別途負担となります。
- お問い合わせ
☎0979-33-7070
電話受付 9:00~17:00(無休)
<http://www.izuminosono.jp/izuminomori>

PHPほんとうの時代 5月特別増刊号 これで安心!「老人ホーム」の選び方 に掲載されました

『PHPほんとうの時代』誌は、価値観変革の時代に充実した新しい生き方を提案する月刊誌として発行されています。人生の円熟期にさしかかった世代に向け、心身ともに豊かな人生づくりをめざす新しいタイプの雑誌として、ライフプラン、家庭・夫婦、健康、経済などを中心に、実用的な情報が提供され、5月増刊号は「老人ホームの選び方」の特集がありました。

この雑誌に「自由な暮らしと、いざという時の安心が得られる戸建の住まい」と冠し、シニアレジデンスいずみの森がナンバーワンとして、カラーページで紹介されました。私共の取り組みをご紹介いただく機会を与えられ、心から感謝申し上げます。



編集後記

気が付けば「あつー」という間に今年も半分終わってしまいました。計画は立てたけれど、積み残しているものが多いこと……。密かにへこむ私に「なるようにしかならんよー」と、人生の達人輩が、勉強になります。

しなやかに
両受け心めし蓋と釜
水の器の名に相応しく

淳子

